



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 松風

コード番号 7979 URL <http://www.shofu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 取締役社長 (氏名) 根来 紀行

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務・人事・総務・ネイル事業担当 (氏名) 藤島 亘

TEL 075-561-1112

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	4,124	9.1	46	△48.8	70	△10.5	△57	—
25年3月期第1四半期	3,781	△1.9	90	△44.8	78	△47.7	△40	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 186百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △244百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△3.62	—
25年3月期第1四半期	△2.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	23,029	18,678	80.9	1,169.53
25年3月期	22,817	18,662	81.6	1,169.09

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 18,639百万円 25年3月期 18,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	11.00	19.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	8.00	—	10.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

25年3月期期末配当金の内訳 創立90周年記念配当 1円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,454	9.0	239	51.8	167	66.6	61	—	3.85
通期	17,168	4.8	715	△18.1	570	△23.9	340	1,034.2	21.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 有
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料P.3「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	16,114,089 株	25年3月期	16,114,089 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	176,537 株	25年3月期	184,497 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	15,931,557 株	25年3月期1Q	16,075,024 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく変動する可能性があることをお含みおき下さい。業績予想に関連する事項については、添付資料P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)におけるわが国経済は、金融緩和をはじめとした経済政策への期待感による円高是正や株価上昇などから、緩やかな景気回復の動きがみられたものの、雇用や所得環境の改善には至らず、欧州債務問題などによる海外経済の下振れ懸念も残るなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、4,124百万円と前年同期比343百万円(9.1%)の増収となりました。売上高に含まれる海外売上高は、1,132百万円(対売上高27.4%)と、前年同期比225百万円(24.8%)の増収となりました。

利益面は研究開発をはじめとした積極的な投資により、販売費及び一般管理費が前年同期比236百万円(11.8%)増加し、営業利益は46百万円と前年同期比44百万円(48.8%)の減益となりましたが、為替の影響などにより営業外損益が好転したため、経常利益は70百万円と前年同期比8百万円(10.5%)の減益に留まりました。税金費用を差し引いた最終損益は、四半期純損失57百万円と前年同期比17百万円の減益となりました。

(デンタル関連事業)

国内では、当第1四半期連結累計期間に市場投入した自己接着性レジンセメント「ビューティセムSA」や前連結会計年度に市場投入した歯科用多目的超音波治療器「エアフローマスター ピエゾン」などの新製品が売上に寄与したことにより、前年同期比増収となりました。また海外においても、北米・中南米や欧州を中心に順調に売上を伸ばし、さらに円安による為替の影響も追い風となり、前年同期比増収となりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、3,670百万円と前年同期比319百万円(9.5%)の増収となりましたが、販売費及び一般管理費の増加により、営業利益は39百万円と前年同期比84百万円(68.1%)の減益となりました。

(ネイル関連事業)

ネイル関連事業の市場は、引き続き拡大傾向が予想される一方で、価格・品質競争は今後もさらに激しさを増すことが見込まれます。このような事業環境の中、平成25年6月に松風本社にネイル事業部を発足させ、商品開発・品質管理から製造・販売までの事業体制を整備・強化いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、海外売上が伸びたこともあり432百万円と前年同期比26百万円(6.4%)の増収となりました。利益面は営業損失0.6百万円となったものの、のれん償却費の負担がなくなったことや増収効果により、前年同期比42百万円の増益となりました。

(その他の事業)

当社グループの株式会社昭研におきまして、歯科用研磨材の生産技術を応用し、工業用研磨材を製造販売しております。当第1四半期連結累計期間の売上高は、21百万円と前年同期比1百万円(7.9%)の減収となり、営業利益は6百万円と前年同期比1百万円(21.3%)の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ211百万円増加し、23,029百万円となりました。

資産は主に、商品及び製品が増加しております。

負債は、前連結会計年度末に比べ196百万円増加し、4,351百万円となりました。未払費用など流動負債のその他の増加が主な要因であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ15百万円増加し、18,678百万円となりました。利益剰余金が減少したものの、その他有価証券評価差額金や為替換算調整勘定が増加したことが主な要因であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.7ポイント低下し、80.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月13日決算発表時の期初の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

在外連結子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外連結子会社の重要性が増加傾向にあり、一定期間の収益及び費用を換算するにあたり、一時点の為替相場を用いるより期中平均相場を用いることがより適正な情報開示に資すると判断したため、当第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

なお、当社における決算書類等の文書保存期間は10年と規定されているため遡及適用に係る原則的な取扱いが実務上不可能であることから、平成15年4月1日より期中平均相場により円貨に換算する方法を適用しております。

当会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期連結累計期間の売上高は9百万円、売上総利益は13百万円、営業利益は6百万円それぞれ増加し、経常利益は1百万円、税金等調整前四半期純利益は1百万円それぞれ減少しております。また、前連結会計年度の期首の純資産に累計的影響額が反映されたことにより、利益剰余金の前期首残高は28百万円増加、為替換算調整勘定の前期首残高は28百万円減少しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,511	5,590
受取手形及び売掛金	2,649	2,391
有価証券	350	292
商品及び製品	2,330	2,692
仕掛品	675	616
原材料及び貯蔵品	688	663
その他	837	752
貸倒引当金	△78	△68
流動資産合計	12,965	12,931
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,348	6,401
減価償却累計額	△4,038	△4,082
建物及び構築物(純額)	2,310	2,318
その他	7,353	7,413
減価償却累計額	△4,491	△4,507
その他(純額)	2,861	2,906
有形固定資産合計	5,171	5,224
無形固定資産		
投資その他の資産	167	160
投資有価証券	3,177	3,350
その他	1,344	1,373
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	4,512	4,713
固定資産合計	9,851	10,097
資産合計	22,817	23,029

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	576	512
短期借入金	980	980
未払法人税等	114	86
役員賞与引当金	3	0
その他	1,295	1,585
流動負債合計	2,969	3,165
固定負債		
退職給付引当金	120	111
その他	1,064	1,074
固定負債合計	1,185	1,185
負債合計	4,154	4,351
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,474	4,474
資本剰余金	4,576	4,576
利益剰余金	9,495	9,260
自己株式	△169	△161
株主資本合計	18,377	18,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	644	732
為替換算調整勘定	△398	△242
その他の包括利益累計額合計	245	489
新株予約権	39	38
純資産合計	18,662	18,678
負債純資産合計	22,817	23,029

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	3,781	4,124
売上原価	1,681	1,833
売上総利益	2,099	2,291
販売費及び一般管理費	2,009	2,245
営業利益	90	46
営業外収益		
受取利息	5	4
受取配当金	29	27
会費収入	12	38
為替差益	—	39
その他	55	16
営業外収益合計	104	126
営業外費用		
支払利息	2	1
売上割引	38	40
当社主権会費用	17	49
為替差損	49	—
その他	7	10
営業外費用合計	115	102
経常利益	78	70
特別損失		
投資有価証券評価損	44	—
固定資産除却損	15	—
特別損失合計	60	—
税金等調整前四半期純利益	18	70
法人税等	58	128
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△40	△57
四半期純損失(△)	△40	△57

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△40	△57
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△161	88
為替換算調整勘定	△43	155
その他の包括利益合計	△204	244
四半期包括利益	△244	186
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△244	186
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,351	406	23	3,781	—	3,781
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	1	1	△1	—
計	3,351	406	24	3,782	△1	3,781
セグメント利益又は損失(△)	124	△42	7	89	1	90

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	デンタル 関連事業	ネイル 関連事業	その他の 事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	3,670	432	21	4,124	—	4,124
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	0	1	1	△1	—
計	3,670	432	22	4,126	△1	4,124
セグメント利益又は損失(△)	39	△0	6	45	1	46

(注)1 セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(在外連結子会社の収益及び費用の換算方法の変更)

会計方針の変更に記載のとおり、在外連結子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外連結子会社の重要性が増加傾向にあり、一定期間の収益及び費用を換算するにあたり、一時点の為替相場を用いるより期中平均相場を用いることがより適正な情報開示に資すると判断したため、当第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

当会計方針の変更は遡及適用され、前第1四半期連結累計期間については遡及適用後のセグメント情報となっております。

この結果、遡及適用を行う前と比べて、前第1四半期累計期間の売上高が、デンタル事業においては8百万円、ネイル事業においては0百万円それぞれ増加しております。また、セグメント利益又は損失は、デンタル事業においては6百万円増加し、ネイル事業においては0百万円減少しております。